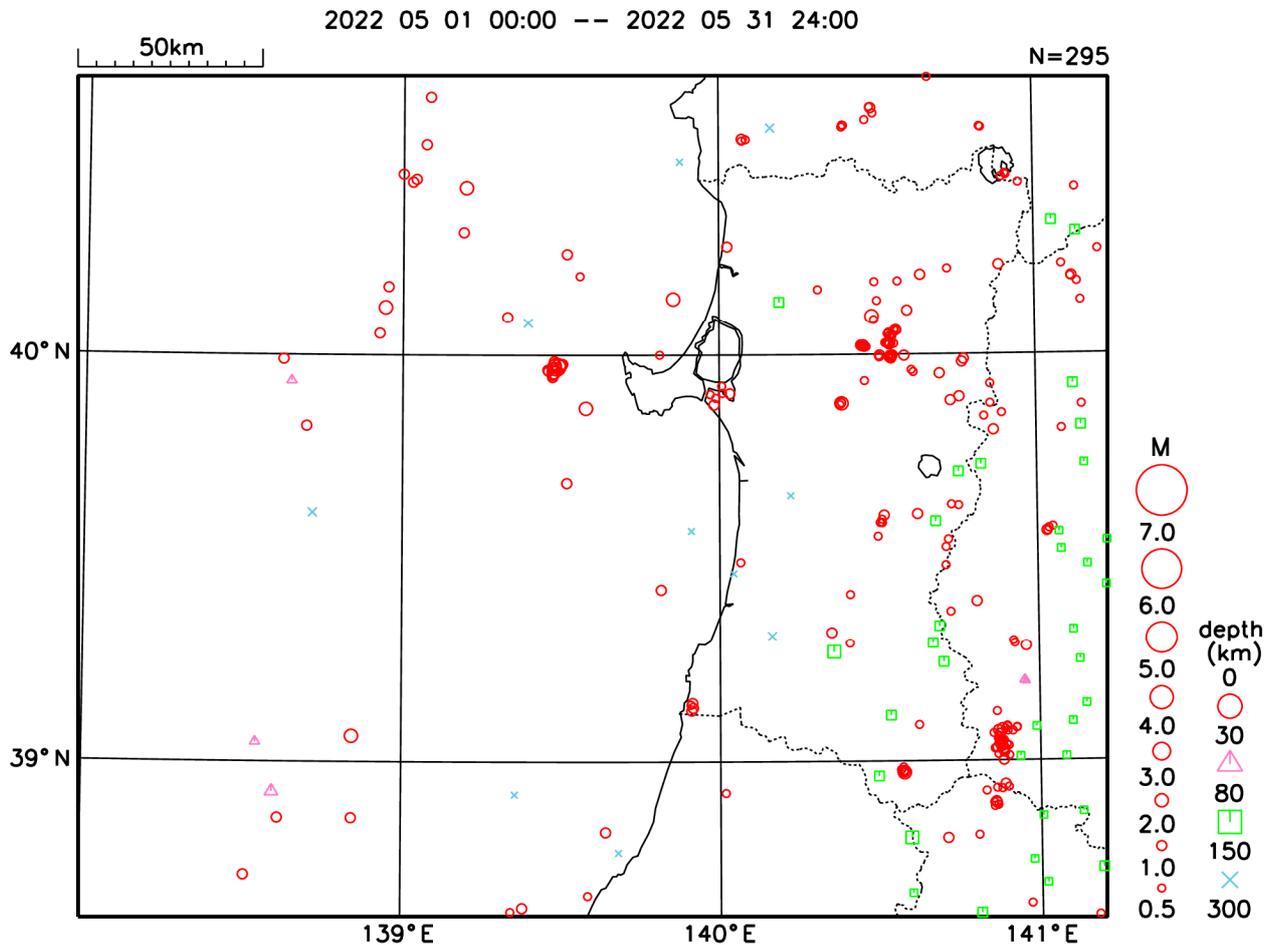


# 秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2022年5月

## 【震央分布図】



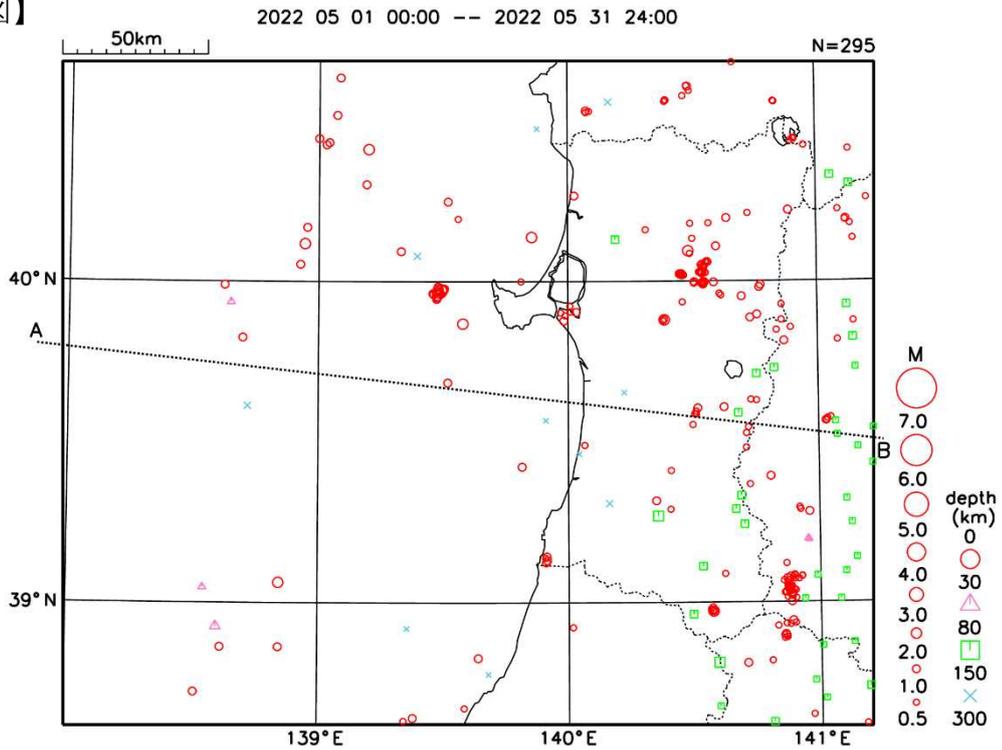
### 〈5月の地震概況〉

この期間、秋田県とその周辺を震源とする地震は295回発生した。県内で震度1以上を観測した地震は5回（4月：5回）で、いずれも図の範囲外を震源とする地震であった。

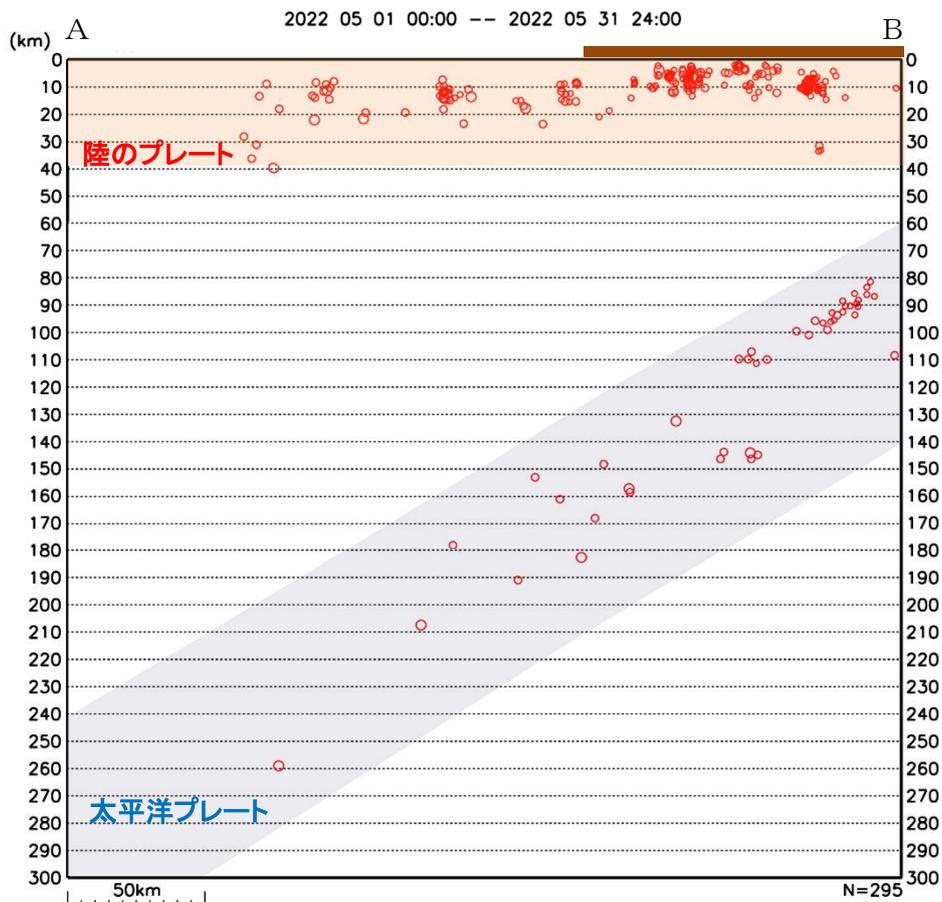
22日12時24分に茨城県沖の深さ5kmでM6.0の地震が発生し、福島県で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した。県内では、由利本荘市で震度2を観測したほか、秋田市、大仙市、横手市などで震度1を観測した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。

23日11時01分に青森県東方沖の深さ24kmでM5.6の地震が発生し、岩手県と北海道で震度3を観測したほか、北海道と東北地方で震度2～1を観測した。県内では、大館市、北秋田市、横手市などで震度1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A-Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。  
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

## 秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2022年5月1日～2022年5月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2022年05月14日00時47分	岩手県沖	40° 05.6' N	142° 44.7' E	34km	M4.7
秋田県	震度 1 : 大館市桜町*				
2022年05月18日06時17分	青森県東方沖	40° 59.2' N	143° 09.8' E	21km	M5.3
秋田県	震度 1 : 井川町北川尻*				
2022年05月22日12時24分	茨城県沖	36° 46.4' N	141° 24.2' E	5km	M6.0
秋田県	震度 2 : 由利本荘市西目町沼田* 震度 1 : 井川町北川尻* 潟上市昭和久保* 潟上市天王* 三種町森岳* 秋田市山王 秋田市雄和女米木 秋田市河辺和田* 秋田市雄和新波* 由利本荘市岩城内道川* 由利本荘市矢島町矢島町* 由利本荘市岩谷町* 由利本荘市前郷* にかほ市平沢* にかほ市金浦* 横手市大森町* 横手市大雄* 横手市平鹿町浅舞* 湯沢市川連町* 羽後町西馬音内* 大仙市刈和野* 大仙市大曲花園町* 大仙市高梨* 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*				
2022年05月23日11時01分	青森県東方沖	41° 13.4' N	143° 05.8' E	24km	M5.6
秋田県	震度 1 : 井川町北川尻* 三種町森岳* 大館市桜町* 鹿角市花輪* 小坂町小坂砂森* 北秋田市花園町 横手市大雄* 秋田美郷町六郷東根 大仙市高梨*				
2022年05月27日17時59分	福島県沖	37° 48.2' N	141° 37.2' E	55km	M4.7
秋田県	震度 1 : 由利本荘市前郷*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、\*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

# 火山への登山の備え

防災メモ

火山は、温泉や景観など、私たちに多くの恵みを与えてくれています。しかし、ひとたび噴火すると、大きな災害をもたらします。安全に登山を楽しむためには、火山に対する正しい知識を持つことが大切です。火山に登る前の情報の入手方法や登山の備えなどをご紹介します。

## ●火山情報を集める

必要な情報は、気象庁ホームページの「火山登山者向けの情報提供ページ」から入手できます。

火山登山 気象庁

検索

検索！



または、気象庁ホームページのトップページ下段にあるバナーをクリック！



火山登山者向けの  
情報提供ページ

クリック！

火山登山者向けの情報提供ページ

火山登山者向けの情報提供ページ（東北地方）

個々の火山毎に、気象庁が発表している火山情報等をご覧いただけます。

噴火警報や火山の状況に関する解説情報を発表していない火山は各地方のページから選ぶか以下の地方 東北地方 移動 火山 秋田駒ヶ岳 移動

リストから火山を選択

最新情報

最近1週間以内に情報を発表した火山はありません。

噴火警報・予報の発表状況と1週間以内に情報を発表した火山（東北地方）

また、地図から選択

噴火警戒レベル対象火山	噴火警戒レベル対象外火山	海底火山
▲ レベル5（避難）※1	● 居住地域厳重警戒※1	○ 周辺海域警戒
▲ レベル4（高齢者等避難）※1	● 入山危険	○ 活火山であることに留意※2
▲ レベル3（入山規制）	● 火口周辺危険	
▲ レベル2（火口周辺規制）	○ 活火山であることに留意※2	
▲ レベル1（活火山であることに留意）※2		

※1 特別警報に位置づけられています。

※2 1週間以内に以下の情報を発表した火山は大きいシンボルで表示します。

- 火山の状況に関する解説情報
- 随時に発表する火山活動解説資料

火山登山者向けの情報提供ページは更新に最大10分程度、時間を要することがあります。

火山活動の状況ページ

火山活動の状況（秋田駒ヶ岳）

火山：秋田駒ヶ岳 移動

秋田駒ヶ岳の活動状況

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）

最近1週間以内に発表した情報

最近1週間以内に発表した情報はありません。

現在の警戒事項等

山に立ち入る際には、最新の火山情報を確認してください。異常を感じたら、ただちに下山するなどの行動をとってください。

また、女岳周辺では噴気活動がみられますので注意してください。

現在の警戒事項等や、最新の情報を確認してください。

また、火山防災マップなどで噴火した場合の影響などについて確認できます。

秋田駒ヶ岳火山防災マップ

火山防災マップ

## ●情報を正しく理解する

気象庁が発表する火山に関する情報は、テレビやラジオ、携帯端末などで発表を知ることができます。その内容を正しく理解しておきましょう。

(気象庁が発表する火山に関する情報や資料の解説) 気象庁 HP > 知識・解説 > 火山 発表する情報の解説

### 「火山の状況に関する解説情報（臨時）」

火山活動が活発な火山において、火山活動に高まりがみられるなどの変化があった場合に活動状況と防災上の注意点について、気象庁が定期的又は臨時に発表する情報です。

火山活動の変化を認識しつつ、最新の情報に注意する必要があります。

### 「噴火警報、噴火警戒レベル」

噴火に伴って、生命に危険を及ぼす火山現象の発生が予想される場合や、その危険の及ぶ範囲の拡大が予想される場合に、警戒が必要な範囲を明示して発表する情報です。

噴火警戒レベルが運用されている火山では、火山活動状況に応じて、警戒が必要な範囲と、防災機関や住民がとるべき防災対応を5段階に区分し、噴火警報と共に発表します。

### 「噴火速報」

登山中の方や周辺にお住まいの方に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動を取っていただくため発表する情報です。

## ●登山届の提出

火山に限らず、万が一、山で遭難したり体調不良で身動きがとれなくなった場合のために、登山計画書(登山届)を必ず提出しましょう。

参考ホームページ

- ・内閣府 HP 火山への登山のそなえ [https://www.bousai.go.jp/kazan/kazan\\_sonae/index.html](https://www.bousai.go.jp/kazan/kazan_sonae/index.html)
- ・秋田県警 HP 登山計画書(登山届)の提出を <https://www.police.pref.akita.lg.jp/kenkei/news/tozantodoke>

## ●持ち物の確認

火山の状態や特性を踏まえ、火山防災マップ・携帯電話・ヘッドライト、ゴーグル(降灰対策)・ヘルメット等の噴火に備えた装備が必要です。

## ●登山中の心得

- ・何の前ぶれもなく噴火する可能性があります。異常と思われる現象を発見した時は、すみやかに安全な場所に避難または下山するとともに、市町村、警察、消防に速やかに連絡しましょう。
- ・噴気孔や噴気地帯などの危険な場所、立ち入り禁止となっている場所、くぼ地や谷などでは火山ガスが溜まっていることがありますので、絶対に立ち入らないでください。
- ・登山中は、ラジオや携帯電話等を携行し、「噴火速報」や緊急速報メール、防災行政無線から流れる情報に注意しましょう。気象庁のHPからの情報収集も怠らないようにしましょう。電波が入りにくい場所もありますので、電波が届いているかどうか確認することも大切です(登山前に通信可能エリアをチェックしておくとういでしょう)。

## ●噴火に遭遇してしまったら

噴火により、火口近傍には大小無数の噴石が飛んできます。ヘルメット(なければバック等)で頭部を守り、直ちに火口から離れましょう。近くに身を隠せる場所があれば、そこに避難しましょう。また、ゴーグルやマスク(あるいは湿らせたタオル)で火山灰や火山ガスから身を守りましょう。



## 参考リーフレット：火山への登山のそなえ

内閣府 HP [https://www.bousai.go.jp/kazan/kazan\\_sonae/index.html](https://www.bousai.go.jp/kazan/kazan_sonae/index.html)